

藤田家資料について

この藤田家資料（266点）は、長い間高遠町資料館に保存されていた物であるが、平成7年春、整理を終えて当館へ収蔵された文書である。

藤田家は、元禄の末期頃から高遠藩内藤家に仕え、明和3年、給人に取り立てられ、家禄四十俵三人扶持を賜った。明治維新まで、ほぼ五・六代に及ぶこの家は、御中小姓目付、津留改役、分一方、御武具奉行、御使番等の役職を勤め、更に藩主の内方で御子様方の世話係り等を勤めた人もあったらしい。

この資料は、残念ながら既に手を加えられたと思われる点があり、藤田家に残されていた文書は、実はもっと多数に及んでいたのではないかと推察される。何時の日にか、残りの文書が発見されて、補遺目録を作って、藤田家の資料を完全な形にすることが出来たらと希望している。

この資料の中では、四冊の監察寮控（大目付への諸願届留）、幕末の長州征伐御供に関する諸資料などが目につく。多数の私文書の中には、諸武術の目録があり、多くの私信と、明治初期の賞状や卒業証書等もあった。

平成7年5月
高遠町図書館